

シアナマイド内用液1%「タナベ」

【この薬は？】

販売名	シアナマイド内用液1%「タナベ」 CYANAMIDE ORAL SOLUTION1%「TANABE」
一般名	シアナミド Cyanamide
含有量 (1mL中)	10mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、酒量抑制剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、アセトアルデヒド（アルコールが分解されたもの）の肝臓での解毒を妨げ、吐き気などの不快な症状を起こすことでアルコール類の摂取を避けさせるために用います。
- ・次の目的で処方されます。

慢性アルコール中毒及び過飲酒者に対する抗酒療法

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られません。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・心臓に重篤な障害のある人

- ・肝臓に重篤な障害のある人
 - ・腎臓に重篤な障害のある人
 - ・重篤な呼吸器疾患のある人
 - ・アルコールを含む医薬品（エリキシル剤、薬用酒等）を使用中の
 - ・妊娠または妊娠している可能性がある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使用する前に医師または薬剤師に教えてください。
- ・肝臓に障害がある人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・てんかんなどのけいれんを起こす疾患を有する人または過去にてんかんなどのけいれんを起こしたことがある人
 - ・脳器質障害がある人
 - ・糖尿病の人
 - ・甲状腺機能低下症の人
 - ・過去にシアナマイド液-Wf で過敏な反応を経験したことがある人
- この薬には併用してはいけない薬 [アルコールを含む医薬品（エリキシル剤、薬用酒等）] や併用を注意すべき薬、飲食物、化粧品があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

〔断酒療法の目的で使用する場合〕

通常、1日5～20mLを1～2回に分けて飲みます。

〔節酒療法の目的で使用する場合〕

通常、1回1.5～6mLを1日1回飲みます。1日飲んで、1日休む飲み方もあります。

●どのように飲むか？

通常、決められた1回量を計量カップで正確にはかり、飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用中に飲酒した場合、急性アルコール中毒症状（顔面潮紅、血圧下降、吐き気、頻脈、めまい、呼吸困難、視力低下）があらわれる場合があります。患者さんとご家族の方は十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・医師の指示によらないアルコール摂取はしないでください。
- ・この薬を使用中は、飲酒、アルコールを含む食品（奈良漬等）の摂取やアルコー

ルを含む化粧品（アフターシェーブローション等）の使用は避けてください。

- ・注意力・集中力・反射運動能力の低下などがおこることがありますので、この薬を使用中は自動車の運転等危険を伴う機械の操作は避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症 (Toxic Epidermal Necrolysis : TEN) ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう (トキシック エピダーマル ネクロリシス:テ ン)	発熱、関節の痛み、全身の赤い斑点と破 れやすい水ぶくれ（水疱）、からだがだ るい、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん (スティーブンス-ジョンソンしょうこうぐん)	高熱、発熱、陰部の痛み、ひどい口内炎、 唇や口内のただれ、中央にむくみをとも なった赤い斑点、赤い発疹（ほっしん）、 まぶたや眼の充血、結膜のただれ、食欲 不振、からだがだるい
薬剤性過敏症症候群 やくざいせいかびんしょうしょうこうぐん	発疹（ほっしん）、かゆみ、発熱、汗がた くさん出る、さむけ、息苦しい、しびれ、 ふらつき、意識がうすれる、考えがまと まらない、判断力の低下
落屑性紅斑 らくせつせいこうはん	強い痒みを伴った赤い発疹（ほっしん）、 皮膚がはがれおちる
再生不良性貧血 さいせいふりょうせいひんけつ	階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切 れ、息切れ、動悸（どうき）、めまい、鼻 血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、 あおあざができる
汎血球減少 はんけつきゅうげんしょう	めまい、動悸（どうき）、息切れ、耳鳴り、 鼻血、出血しやすい、歯ぐきの出血、あ おあざができる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、 皮下出血、出血が止まりにくい
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる、 尿が黄色い、嘔吐（おうと）、吐き気、食 欲不振、かゆみ、からだがだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる、 尿が褐色になる

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	高熱、発熱、さむけ、ふらつき、汗がたくさん出る、からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない
顔面	鼻血
眼	まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	ひどい口内炎、唇や口内のただれ、歯ぐきの出血、嘔吐（おうと）、吐き気、のどの痛み
胸部	階段や坂を上る時の動悸（どうき）や息切れ、動悸（どうき）、息切れ、息苦しい、吐き気
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	関節の痛み
皮膚	発疹（ほっしん）、中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹（ほっしん）、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、強い痒みを伴った赤い発疹（ほっしん）、皮膚がはがれおちる、あおあざができる、皮下出血、皮膚が黄色くなる、かゆみ
尿	尿が黄色い、尿が褐色になる
その他	陰部の痛み、出血が止まりにくい、出血しやすい、しびれ、判断力の低下

【この薬の形は？】

形状	液剤 
性状	無色澄明・においはないか又はわずかに特異なにおい

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	シアナミド
添加物	メチルパラベン、塩酸、水酸化ナトリウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・冷蔵庫などの涼しいところ（1～15℃）で保管してください。
- ・長時間加熱したり、煮沸したりしないでください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<http://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-753-280

受付時間：9時～17時30分

(土、日、祝日、会社休業日を除く)